

# 「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

**事業名** 赤バイを活用した孤立集落情報通信確保等事業

**自治体名**

熊本県多良木町

**消防団名**

多良木町消防団

## 1 事業の目的・必要性

災害時において道路や通信の遮断は現場確認の遅れにつながり、人命救助等に大きな支障をきたす。このため、悪路での通行も可能なオフロードバイクを導入し、令和4年度の当事業で導入した無線デバイスを有効活用し、孤立集落等での状況確認や情報通信網の遮断に対応する。

## 2 事業内容

地元消防団・自主防災組織において、防災訓練時には要支援者等へ電話連絡を行い避難の呼びかけや安否確認を行っているが、広域的に甚大な被害が生じ、道路及び通信の遮断が発生したため、山間部の地元消防団では現地確認が難しい状況を想定した防災訓練を実施した。

地元消防団から本部への消防バイク隊（通称「赤バイ」）の出動要請により、孤立想定地区へ出動した赤バイ隊（2名1組）と本部との無線デバイス（携帯電話圏外でもチャット通信が可能となる無線機器）を使用した情報収集通信訓練を実施した。

## 3 事業成果

本町は高齢化が進み、消防団員も減少しており、出動できる団員も仕事の関係でさらに少ない状況である。赤バイを導入し、現場に到達する手段を増やし、消防団の機動力を高め、少人数での現地確認が可能となった。また、非常時の通信手段等を確立し、情報通信活動の機能向上が図られた。

平常時においても、赤バイを活用した火災予防広報を実施し、火災発生件数の減少に寄与している。

## 4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
説明会	回数	2回	2回	消防団及び地元住民説明会
訓練参加者	人数	140人	27人	消防団及び地元住民
講習会	回数	2回	2回	バイク付属設備及び無線デバイス
火災予防広報	回数	1回	1回	火災予防週間
検討会・打合せ	回数	3回	3回	情報収集通信訓練内容打合せ

## 5 その他参考情報

多良木町消防団は団長以下12分団で消防活動を行っており、女性消防隊や消防ラップ隊も活動しています。また、機別消防団員制度も活用し団員の確保にも努めています。

